

令和2年第7回大野城市議会 12月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和2年12月14日（月） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
大塚 みどり	1. 子育て支援について (1) 子育て支援の現状について (2) 祖父母手帳の導入と活用について
平田 不二香	1. ひとり親家庭の自立支援について (1) ひとり親家庭の相談窓口強化について (2) ひとり親世帯への新型コロナウイルス感染症対策 (3) 就職のための支援
原田 真光	1. フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニアの予防・対策への取り組みについて (1) 令和2年5月1日号の広報『大野城』にて初めてフレイルに関する記事が掲載された。フレイルとはどういった状態を表すのか。同様に、ロコモティブシンドローム・サルコペニアとはどういった状態を表すのか (2) 本市におけるフレイル・ロコモティブシンドロームの予防・対策への取り組みはどういったものがあるのか (3) 特定健診におけるメタボリックシンドローム健診同様、フレイル健診等を行うことで市民のQOL（生活の質）向上や医療費抑制に繋がると考えられるがどうか
福澤 信光	1. 災害時における対応と連携について (1) 市民に対して災害時用の備蓄をどのように呼びかけているか (2) 台風10号での避難世帯数は延べ333世帯、避難人数は延べ538人と聞いたが、これまでと比較してどのようになっているか (3) 公民館を自主避難所として開設した時刻はいつなのか (4) 各区の避難所に本市職員を2名ずつほど配置したと聞いたが、この配置された職員はどのような方か (5) 避難者の数に対して、毛布などが不足していたという話を聞いたが、そのような場合の連絡体制はどうなっているのか (6) 災害時のこども部と教育部の連携について (7) 災害時に限らず、本市の子ども施策全般において教育部とこども部はどのように連携しているのか
渡邊 知之	1. 日本遺産広域型認定された構成文化財の活用について (1) 市内の6つの文化財の日本遺産広域型認定を受け、大野城心のふるさと館等で様々なイベントが企画されたが市民の反応はどうか (2) 市内の6つの日本遺産の構成文化財をよりわかりやすく市民に知ってもらうため、情報発信やボランティア解説員などの人材育成を行う必要があると思うがどうか (3) 市内の6つの日本遺産の構成文化財を学校教育や生涯学習において活用することを検討しているか。その場合は、具体的にどのような活用を考えているか

	<p>(4) 日本の歴史について興味を持った外国の方もたくさんおられるが、外国の方への情報がまだまだ不足している。英語表記での説明やヘッドホンによる多国語対応なども必要であると思うがいかがが</p> <p>(5) 市内の6つの文化財の日本遺産広域型認定を受け、日本遺産の構成文化財を巡るツアーやご当地検定の実施などを検討してはいかがが</p>
田中 健一	<p>1. 大野城の未来づくりについて</p> <p>(1) コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(2) 豪雨災害や地震に強いまちづくりについて</p> <p>(3) 九州大学との連携によるまちづくりについて</p> <p>(4) 大野城市都市計画マスタープラン策定について</p>
森 和也	<p>1. より住みやすいまちづくりについて</p> <p>(1) 第一種低層住居専用地域における建ぺい率・容積率について</p> <p>(2) 日の浦池線について</p> <p>(3) 水城跡の整備について</p>
関井 利夫	<p>1. 西鉄天神大牟田線連続立体交差関連事業について</p> <p>(1) 新型コロナ禍に於いて高架切り替え（踏切遮断がなくなる）時期は令和4年8月末、白木原駅工事完了は令和6年5月に変更はないか</p> <p>(2) 下大利駅工事完了は令和4年12月予定と聞いている。県立筑紫中央高校の改築に合わせて中央玄関前を高校前広場として整備を行うとのことだが、その内容をお聞かせ下さい</p>

○本会議（4日目）一般質問

令和2年12月15日（火） 午前9時30分（於 議 場）

議員氏名	件 名
平井 信太郎	1. 敬老の日関係のお祝い金及び行事について (1) 敬老お祝い金について (2) 敬老の日お祝いの行事について
河村 康之	1. 障がい福祉サービスの活用について (1) 障がい福祉サービスとは、誰に、何のために行うのかその対象と目的を井本市長に伺います (2) 本市の障がい福祉サービスと、障がい福祉のしおり「はばたき」について (3) 平成29年3月議会で質問した福祉タクシー利用券のその後について
神田 徳良	1. 中学校給食について (1) 中学校ランチ給食サービスの実態について (2) ランチ給食と自校式給食について (3) 中学校給食の今後の取り組みについて
中村 真一	1. 大野城市のまちづくりについて (1) 旧自治省から南地区が「モデルコミュニティ」の指定を受け令和3年に50年を迎えるにあたり大野城の「住民参加のまちづくり」について市長の思いをお伺いします (2) まどか運動の始まった経緯と内容について (3) モデルコミュニティの指定を受けるまでの本市（大野町）の状況は (4) モデルコミュニティの指定を受けた経緯について (5) その後のまちづくりの経過について (6) 現在の取り組みと今後目指す地域コミュニティの在り方は (7) コロナ禍におけるコミュニティ活動について
井福 大昌	1. コロナ危機をチャンスに変えるサプライチェーン回帰で企業誘致を (1) 今回のコロナ危機で、海外に生産拠点を持つ製造業業界の脆弱さが浮き彫りとなりました。 マスクなどの例をみれば明らかです。 政府はこれをうけ、海外に工場などの生産拠点をもち企業に対し、国内への拠点回帰を補助する(中国から工場を日本に戻す補助金)いわゆる「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」を打ち出しました。 A種：大企業へ2分の1、中小企業に3分の2 B種：大企業へ3分の2、中小企業4分の3の補助率です。 1次2次補正の予算の合計は3,060億円で、1,600件以上の応募が殺到し倍率は十数倍、全体の事業費は2兆円を超えるのではとも言われております。 これは国内の自給率を上げ、特定の国家に大きく生産を依存している現状から脱するという有事の際に期待できる一石二鳥のコロナ危機をチャンスに変える事業です。

	<p>現状で福岡県内への回帰はまだ3件にとどまっています。</p> <p>2. 西鉄高架事業について</p> <p>(1) 県のホームページによりますと、令和2年度福岡県県土整備・建築都市部公共事業再評価検討委員会が開催され、議案の中に「街路事業・西鉄天神大牟田線について」とありましたが、どのようなものですか</p>
<p>松崎 百合子</p>	<p>1. 不登校の児童生徒への学びの保障について</p> <p>(1) 不登校の児童生徒への学びの保障について市の考えを伺う</p> <p>(2) 不登校児童生徒の現状について</p> <p>(3) コロナ禍以降について</p> <p>(4) 教育機会確保法13条「学校以外の場における学習活動を行う不登校児童生徒への支援」について</p> <p>(5) 早期からの支援と支援情報の提供について</p>